



第1回評議員会を開催しました

5月14日（金） 於 鹿児島市中央公民館

今年度の県事協の活動が、この第1回評議員会を経て実質的にスタートしたことになります。

冒頭、会長より「コロナ禍において、集まることにためらいを感じる時期にあえて集まるのはなぜか。例えばひとつの事例について、支援室に持って行くまでの考えが、集まって議論することで180度違う判断になることがある。顔を突き合わせて議論することの大切さを感じる。『〇〇長』判断といった決定の形態にしても、議論を積み重ねたうえでなされることを忘れないようにしたい。今年度の現状報告会は、大きな会場を押さえてある。定員の4分の1に人数制限された場合でも、100人規模を確保できる。なんとか開催したいと考えている。」とのあいさつが述べられました。

協議では、第16次の県費事務改善検討委員会事業の概要説明をはじめ、各事業の方針について話し合うことができました。

後日、各地区の評議員より、各事業について説明や協力依頼がなされることと思います。会員の皆様におかれましては、ひきつづき県事協事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の主な事業計画

- ①県事協CDの更新・充実・浸透
- ②第16次県費事務改善検討委員会設置
- ③学校事務現状報告会開催
- ④HP更新・県事協だより発行

◇今年度の学校事務現状報告会に向けて

8月6日（金）にサンエールかごしまでの開催を予定しています（公文は後日発送）。新型コロナウイルスの感染状況に左右される可能性もありますが、2年続けての中止は回避し、ぜひとも開催したいと考えております。できる限りの感染対策を行い、安心安全な報告会になるよう計画を進めて参ります。

第16次県費事務改善検討委員会の活動

諸手当認定電算マニュアル等の更新を中心に、諸手当認定・電算マニュアル班、実務手引書班、福利厚生関係実務班に分かれ、主に夏季休業期間を使って作業を進めていきます。

また、今年度も、本県において共通認識した方が良いと思われる事例や、実態に即した質疑応答を充実させていくため、各地区から提供された質疑応答の事例の編集を行ってまいりますので、地区研修会や支援室等で出された事例をお持ちの方は、「質疑回答等提供用紙」にご記入のうえ、各地区の集約担当者へご提出ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

諸手当認定・電算マニュアル班

常任委員5名、担当理事5名で組織されます。各手当を常任委員・担当理事各1名で担当します。

マニュアルに関する要望、加除修正部分及び、各地区からの質疑応答事例を整理・検討し、マニュアルの整備・更新作業を行います。

作成されたデータは、県事協CD掲載（年度末）と県事協HP公開（次年度8月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

実務手引書班

常任委員1名、各地区からの検討委員6名、担当理事1名で組織されます。

実務手引書（給与振込編・給与電算編・出力資料編・給与事務編）の編集のほか、各地区からの質疑応答事例の収集や各手引への要望、加除修正等の意見集約を行います。

作成されたデータは、県事協CD掲載（年度末）と県事協HP公開（次年度8月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

福利厚生関係実務班

常任委員1名、各地区からの検討委員2名、担当理事1名で組織されます。

「出産・育児」ハンドブックと、各団体（共済組合・互助組合・共助会・福利厚生事務センター）の様式記入例の整備を行います。

作成されたデータは、県事協CD掲載（年度末）と県事協HP公開（次年度4月頃）を行います。

各地区の事務職員会等の紹介

大島地区から

①和泊町事務職員会

和泊町事務職員会です。沖永良部島東側に位置する和泊町の自慢は、日本一大きなガジュマルの木。圧倒的な存在感、生命力を感じられるその大木は、今日も国頭小学校の校庭で、子どもたちを見守ってくれています。

本会は、小学校4校、中学校2校の計6校、6名の事務職員で支援室・研修会を行っています。

支援室は、基本的に月2回程度実施。2年連続新採が入ったこともあり、当面の業務内容や通知文について、丁寧に確認しています。

研修会は、町単独で6回、知名町との合同研修を3回実施しています。和泊町のテーマは「町費事務の共有化」で、町費事務について共通理解を図りながら、「備品購入マニュアル」・「伝票作成マニュアル」・「就学援助費・特別支援就学奨励費事務マニュアル」の3つのマニュアルを作成しています。小規模で支援室と同じメンバーで構成される研修会は、共同実施で出た研修事項や疑問点を研修会の題材にすることができ、問題を確実に解決し、研修会の中で話をより発展させていくことができます。

今後も、和泊町のメンバーで一丸となって、学校現場の教育活動の支援に努めてまいります。



②知名町事務職員会

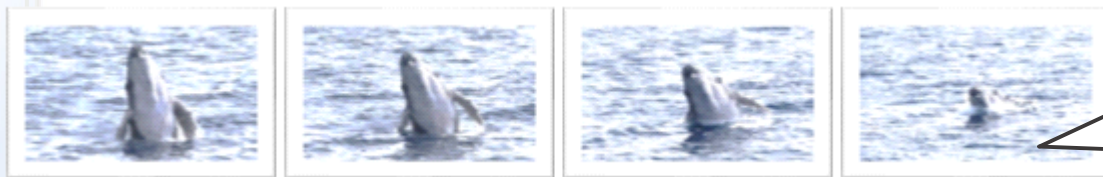


知名町

奄美群島に属する沖永良部島の西側が知名町です。東シナ海を一望できる田皆岬は奄美十景の一つ。日本鍾乳洞九選に数えられる昇竜洞をはじめ、地底には多くの鍾乳洞があり、ケイビングを楽しむこともできます。自然豊かで人もあたたかい、とても素敵な町です。

知名町事務職員会

知名町事務職員会は、小学校5校、中学校2校の計7名で構成されています。支援室は月に3回程度。研修会は年6回計画されています。沖永良部島のあたたかい雰囲気の中で、和気あいあいと日々の業務や研修に励んでいます。



拠点校である知名小学校では運が良ければクジラが見られることも...!
(写真提供:知名小)

③与論町事務職員会

みなさんこんにちは！与論町事務職員会です。与論町は周囲24km、人口約5,200人の島で、周囲が珊瑚礁に囲まれ、「東シナ海の真珠」と呼ばれる美しい海が広がっています。2018年には、1年間で約7万人の観光客が訪れ、ドラマやMVのロケ地にもなっています。

学校数は小学校3校、中学校1校で構成されています。月2回の定例会を実施し、主な活動としては、諸手当認定事務、若年経験者及び在籍校支援、事務職員間の相互支援、学校サポート、教委及び保護者・地域との連携という5つの大きな軸を中心に、連携を密に協力しています。与論町では、子どもたちが島を離れたとき力を発揮できるように「島立ち」の教育を掲げています。純粋な心の子どもたちに囲まれながら、4名の事務職員で日々協力して、教育活動の一助になれるよう、今後とも取り組んで参ります。



湧水町の紹介

始良伊佐地区から

湧水町は、鹿児島県中北部、鹿児島市の北東約70kmの内陸地域に位置し、九州山地と霧島連峰に囲まれた盆地です。宮崎県のえびの市とも隣接しています。2005年吉松町と栗野町が合併して始良郡湧水町が発足しました。湧水町の由来は、栗野の丸池と吉松の竹中池から湧き出る、豊富な「湧水」から名付けられたようです。

下の写真左は、栗野駅近くの「丸池公園」。肥薩線でゆっくり見に行くのもいいかも。右の写真は、吉松にあるパラグライダー体験のできる丘「魚野テイクオフ場」から見た朝日。条件がそろえば壮大な雲海が望めます。そのほか、「幸田の棚田」「霧島アートの森」など湧水町は魅力いっぱいの町です。



湧水町学校事務支援室の紹介

吉松小学校 樋園朋恵

こんにちは、湧水町学校事務支援室です。私たちは、小学校5名、中学校2名の計7名で月2回程度、栗野中学校を拠点校として、諸手当認定事務、県費関係の相互点検から町費予算に関すること、研修・広報まで多岐にわたり活動を行っています。

今年度、新たな支援室の取り組みとして、長期休業中に、次年度の予算要求に繋げていくことを目的とした、各学校50分程度の施設参観を行いました。校内の危険箇所及び修繕箇所、備品の状態等を第三者の目で見てもらうことで新たな発見があり、有意義なものとなりました。（ただし、真夏の校舎、運動場は暑いので、全て見てまわりきるには気合いが必要でした・・・）



新採1年目から再任用のベテランまでいる支援室なのですが、このような活動を通してベテランの知識や経験が着実に若手へと受け継がれています。また、新採3年目の私が何でも質問できるほどアットホームな雰囲気です。初めて経験する事案に当たったときも周りからのサポートがあり、とても心強く感じます。これからもこの温かみある支援室で事務職員として大きく成長していきたいと思います。

（支援室の紹介は、昨年9月始良伊佐事務職員協議会広報誌「らんぶ」掲載分を利用しました。）

活動経過及び予定

4月16日	理事会・会計監査 県教職員課、総務福利課訪問
5月14日	理事会・第1回評議員会
6月15日	理事会・常任委員会・ 県費事務改善検討委員会事業説明会
7月13日	理事会
7月26日	県費事務改善検討委員会①
8月3日	県費事務改善検討委員会②
8月6日	第2回評議員会・総代会・ 学校事務現状報告会

編集後記

まずは、寄稿くださった和泊・知名・与論各町事務職員会、湧水町学校事務支援室、福祉事業連絡会の皆様に感謝申し上げます。

新年度が始まったものの、いまだコロナ禍から抜け出せず、ゲームチェンジャーとして期待されるワクチン接種も、当初の政府計画から後ろ倒し後ろ倒しで、なかなか明るい展望が開けない中、GWも自粛ムードで過ぎ去ってしまいましたね。

そんなGW前の4月27日、65歳までの定年延長を含んだ国家公務員法改正案が衆議院を通過したとのこと。2023年度から2年刻みで1歳ずつ定年年齢を上げるそうです。原則、地方は国に準ずるので、私もばっちり65歳定年です。60歳で再任用希望はせずにフラフラする計画だったんですけどねえ。こちら後ろ倒し後ろ倒しで。

ま、人生100年時代、生涯現役ですからね(ー)みんなが少しでも前向きに明るい気持ちで過ごせる制度になりますように。 ㊦

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県教職員福祉事業連絡会は、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5団体で構成する連絡会です。

- ☆公立学校共済組合鹿児島支部 ☆鹿児島県教職員互助組合 ☆鹿児島県教職員共助会
☆鹿児島県学校生活協同組合 ☆教職員共済鹿児島県事業所

それぞれの団体の事業計画や実施状況を年2回交流しながら、互いに事業の充実に役立てています。教職員の皆様方が、安心して学校等で働けるよう、事業や活動を充実させていきますので、今年度もよろしくお願いたします。

公立学校共済組合 鹿児島宿泊所

「ホテル ウェルビューかごしま」の御案内

組合員の皆さまには、かねてから御利用いただき、心から感謝申し上げます。

当施設には組合員のためのお得な利用補助制度があり、コロナ禍でも安心して、御家庭・職場等でウェルビューの味をお楽しみいただけるテイクアウト商品や、家族・親族単位での慶事・法事利用が大変好評です(県「ぐるめクーポン」併用可)。

各種業界団体のガイドラインを遵守し、感染症対策を万全にして、皆さまのお越しをお待ち申し上げます。

1 利用補助(通年実施) __令和3年度から拡充

① 宿泊利用補助

1泊あたり大人1,000円, 小人500円を補助

② 会食等利用補助(仕出し適用可)

- ・1,500円以上会食した場合 500円を補助
- ・3,500円 " 1,000円 "
- ・5,500円 " 2,000円 "

③ 結婚式場利用補助

・組合員又は子が利用した場合, 利用料金の2分の1を補助(上限20万円)

④ 慶事・法事利用補助(仕出し適用可)

・組合員, 被扶養者及び同伴する組合員の一親等以内の親族を施主とする慶事又は法事で利用した場合, 利用料金の2分の1を補助(上限3万円)

※ 上記①及び②の対象者は, 組合員, 被扶養者及び同伴する組合員の一親等以内の親族となります。

2 イベントスペースの提供について

学校・教育機関等の教育活動をPRする場として, 当施設の空きスペース(ロビー, チャペル等)を無料で提供しています。

例) 児童生徒の作品展, 演奏会, 発表会
生産物・加工品の展示販売 等

※ 展示期間や作品の運搬等お気軽に御相談ください。

問合せ先 ⇒ 099-206-3838

共助会からのお知らせ

2020年度 会員拡大へのご協力 ありがとうございました!

ご存知のように「公立学校共済組合」や「鹿児島県教職員互助組合」は、新規採用と同時に自動的に会員になるシステムですが、「共助会」は条例団体ではないので、加入手続きが必要になります。加入手続きのわずらわしさや、私たち事務局の説明・PR不足から、年々、新規加入者数が減少し、約10年前から現職会員数が毎年、約150人ずつ減りつづけておりました。

この減少を食い止めるには、会員拡大に取り組む必要があると捉え、新規加入者数の目標を500人に設定し、対象者への広報活動やダイレクトメール、学校訪問での説明等を行ってまいりました。この取組に対して事務職員の先生方がご理解とご協力を下さった結果、新規加入者が着実に増えてきています。

毎年200人前後だった新規加入者が250人、300人、350人、…と目標値に近づき始め、現職者数の前年との差も-150人位だったものが-80人位までになってきました。そして、新規加入目標500人は、2019年度に537人、2020年度が577人となり、目標値を大きく上回りました。更に、前年度との現職者数の差も2019年度が+25人、2020年度が+61人となり、減少傾向に歯止めがかかりつつあります。

共助会は、会費を原資として給付事業や貸付事業、貯金事業、会員の福利厚生事業等を行っています。会員数の安定は、共助会にとって必須条件です。今後約10年間は定年退職者が年々、増加していくこととなります。その減少分を補充するために未加入の先生方に会員になっていただく必要がありますので、これからもご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

2021年5月 鹿児島県教職員共助会